

日本原子力学会炉物理部会第 31 回会員総会 議事録

平成 21 年 4 月 14 日

日時 平成 21 年 3 月 24 日 (火) 12:00 ~ 12:55

場所 東京工業大学 (日本原子力学会 2009 年春の年会 K 会場)

配布資料

- 日本原子力学会炉物理部会第 31 回会員総会 議事
- 31-1: 平成 20 年度 炉物理部会収支報告
- 31-2: 平成 21 年度 炉物理部会運営委員交代(案)
- 31-3: 平成 21 年度 炉物理部会収支予算案
- 31-4: 炉物理部会 平成 21 年度夏期セミナーの開催予定(案)
- (国際シンポジウムの案内) Symposium on Reactor Physics and Nuclear Data -Recent Progress for Advanced Reactors-

議事

平成 20 年度下期の活動報告

1. 炉物理・核データ部会の日韓合同・企画セッションの開催
炉物理・核データ部会合同および日韓合同の企画セッションを 2009 年春の年会で開催(3 月 25 日 12:30-14:00 K 会場、発表 5 件)することが、松村部会長から報告された。
2. 炉物理・核データの国際シンポジウムの開催
炉物理・核データの国際シンポジウムを東京工業大学 国際交流会館本館にて開催(3 月 26 日 9:00-16:50)することが配布資料(国際シンポジウムの案内)をもとに本シンポジウムの山本幹事から報告された。
3. 「次世代炉物理実験施設活用方策検討会」の活動
炉物理部会の「次世代炉物理実験施設活用方策検討会」活動概要等について本検討会の岩崎主査から報告された。原子力学会の「アクチノイド・マネジメントに関する炉物理実験施設」研究専門委員会と合同で今年度 4 回開催された。来年度も継続して開催する予定であり、検討会としての将来に向けての提言を出していくとの説明があった。
4. 「炉物理の研究」第 61 号の発刊
炉物理部会報「炉物理の研究」第 61 号は平成 21 年 3 月に発刊されたことが、東條編集小委員会担当幹事から報告された。本部会ホームページにて閲覧できる。
5. 平成 21 年度原子力学会フェローの推薦
原子力学会フェローに炉物理部会から代谷 平成 19 年度部会長(京都大学)を推薦し、学会で手続き中であることが、松村部会長から報告された。

6. 原子力学会誌 50 周年記念号に記事掲載

原子力学会 50 周年記念号（平成 21 年 4 月号）に「炉物理部会」部会活動報告が掲載される事が松村部会長から報告された。記事の執筆に当たっては、原子力安全研究協会の松浦氏及び JAEA の森氏に御協力、御寄稿頂いた。

7. 平成 20 年度決算の報告

平成 20 年度炉物理部会決算案が配布資料 31-1 をもとに異財務担当幹事から報告された。JAEA からの賛助金により余剰金が生じたこと、それを平成 21 年度に繰り越し、旅費交通費の一部として支出することなどの説明があった。繰越金について、これまでの経緯、学会事務局からの通達、今後の扱い方針などが議論された後、本決算案は出席者全員の拍手を以って承認された。

平成 21 年度の活動計画

8. 平成 21 年度炉物理部会運営委員の選出

平成 21 年度炉物理部会運営委員案は配布資料 31-2 をもとに松村部会長から報告され、出席者全員の拍手を以って承認された。

これを以後の議事進行は平成 21 年度運営委員が実施した。

9. 平成 21 年度予算の報告

平成 21 年度炉物理部会予算案が配布資料 31-3 をもとに下財務担当幹事から報告され、平成 20 年度の繰越金の一部を平成 21 年度の旅費交通費に充てることなどの説明があった。本予算案は出席者全員の拍手を以って承認された。

10. 第 41 回炉物理夏期セミナーの企画

平成 21 年度炉物理夏期セミナーの企画案は配布資料 31-4 をもとに吉田セミナー担当幹事から報告された。今回のテーマ設定の趣旨と開催場所（熱海）選定の理由、夏期セミナー用に銀行口座の開設、日程（8/3～8/5）等¹が説明された。本企画案は出席者全員の拍手を以って承認された。

11. 平成 21 年度炉物理部会賞の計画

平成 21 年度（第 3 回）炉物理部会賞について、実施計画が肥田部会長から述べられた。5 月の連休明け頃に募集を開始し、7 月頃に締め切り、その後、選考、決定し、2009 年秋の大会時の会員総会にて表彰する予定。

12. 原子力学会関連委員会からの報告

学会の公益法人化準備に伴い、会計処理が厳しくなっており、領収書の受領および予算変更・執行時等の事前確認を確実にを行うよう要請されていることが、岩崎部会等運営委員から説明された。特に変更・執行時において、関係者は事前に財務担当幹事と学会事務局に良く相談の上、手続きの確認、部会内（運営委員会）での連絡・承認などを確実に行うことが必要である。

¹「第 1 回原子力発電国際サマースクール・若手ワークショップ」と日程の一部が重複している。

13. その他

2009 年秋の大会の企画セッションは 4 月末までに各部会から提案する必要があり、肥田部会長から企画案の提出が要請された。

平成 21 年度も「炉物理の将来展望に関する討論会」を、平成 20 年度の第 1 回で示されたテーマなどをもとに継続したいとの提案が肥田部会長からあった。

そのほか、出席者から以下の紹介があった。

- 世界初陽子加速機による ADS の成功の紹介（卞氏）
- JAEA での炉物理研究部門統合（岡嶋氏）
- SNA2010+MC2010 の開催案内（長家氏）



平成 20 年度 松村部会長



平成 21 年度 肥田部会長

以上